

# 層雲峡ビジターセンター



〔 春を告げる水芭蕉が咲き始める・4月 〕

水芭蕉（ミズバショウ）は、湿地や湿原に生息する多年草で、春の訪れを告げる美しい花として知られています。主に日本の北海道や東北地方に分布し、標高の高い山地にも自生します。白い仏炎苞（ぶつえんほう）と黄色い花序（かじょ）が特徴で、その姿が清楚で美しいため多くの人に愛されています。

水芭蕉はミズバショウ属（シュウカイドウ科）に属し、湿った土地を好むため、湧水地や湿原で群生することが多いです。春先に花を咲かせた後、夏には大きな葉を広げるため、湿地の風景を彩ります。特に尾瀬や大雪山系では水芭蕉の群生が名所となっており観光客にも人気の植物です。これからの季節は愛山溪や高原温泉等、標高の高い地域で見ることができます。



上川町から層雲峡へ向かう国道沿いの桜が、とても美しく咲いていました。（5月13日撮影）

今年は例年よりも気温がやや低かったため、開花が少し遅れたようです。層雲峡は長い冬を乗り越え、新緑の季節が訪れています。

## 🐻 ヒグマ出没中



層雲峡付近で撮影されたヒグマ 5月上旬



道路沿いに捨てられたゴミ

4月から層雲峡では冬眠明けのヒグマが多数目撃されています。

野外に捨てられたゴミは、ヒグマを人の生活圏へ引き寄せる原因になります。特に食べ物の匂いが残るゴミは、ヒグマが「ここに行けば食べ物がある」と覚えてしまい、何度も人里へ現れるようになります。こうなると、人との遭遇が増え、事故の危険が高まります。また、人工的な食べ物の味を覚えてしまったヒグマが本来の食料を探さなくなり、生態系にも悪影響を及ぼすことがあります。対策として、ゴミは必ず持ち帰り、ヒグマが開けられない専用のゴミ箱を使うことが大切です。キャンプや登山では、食べ物の匂いが広がらないように密閉容器に入れ、ゴミの管理を徹底しましょう。

適切な行動をとることで、ヒグマとの不要な接触を防ぎ、安全に自然と共存することができるのではないのでしょうか。

これはヒグマに限った話ではありません。ゴミは残さず持ち帰り、野生生物には絶対に餌を与えてはいけません。

黒岳五合目にある展望台『高松台』で、チシマザクラが咲き始めています。また、五合目駅舎付近ではキバナシャクナゲやエゾイワハタザオも開花しました。

6月1日からチェアリフトが再開され、黒岳七合目まで行けるようになります。標高の低い溪谷から緑色に染まっていく風景を、山の上から眺められるのは、この時期ならではの楽しみかもしれません。

黒岳登山にはまだ少し早いです。季節の移り変わりを感じる貴重な時間を、黒岳で過ごしてみたいと思いませんか。

(撮影 5月30日・高松台)



### ◆層雲峡ビジターセンターからのお知らせ◆

6月から10月まで休館日がなくなり毎日開館します。

開館 9:00 ~ 閉館 17:00

層雲峡へお越しの際は是非お立ち寄りください